

会 議 記 録				
会 議 の 名 称		産業建設常任委員会		会議場所 全員協議会室
				担当職員 佐藤
日 時	令和3年7月27日(火曜日)		開 議	午前 10 時 00 分
			閉 議	午前 11 時 00 分
出席委員	◎赤坂、○奥野、田中、小川、藤本、木曾、菱田			
出席理事者	【産業観光部】由良部長 [商工観光課]三宅課長、元古副課長、松浦観光振興係長			
出席事務局	山内事務局長、佐藤主任			
傍聴者	市民0名	報道関係者0名	議員0名	

会 議 の 概 要

10 : 00

1 開議（赤坂委員長あいさつ）

[事務局主任より日程説明]

2 案件

[産業観光部入室]

[産業観光部長あいさつ]

（１）第70回亀岡平和祭 戦没者等慰霊花火事業について （産業観光部行政報告）

[商工観光課長 資料に基づき説明]

10 : 06

【質疑】

<木曾委員>

この事業は、当初から予算が上がっていた分なのか。

<商工観光課長>

当初予算で、今年度実施を予定していた花火大会に対する補助金300万円を、慰霊の花火として執行させていただく。

<木曾委員>

花火大会の予算の名称を変更して実施するということか。

<産業観光部長>

当初から花火大会の予算として、300万円を組んでいたが、花火大会が中止となったので、今回、実行委員会の中で、慰霊の花火として事業を実施することとなった。

<赤坂委員長>

予算の名称を変更したということか。

<産業観光部長>

当初予算の枠の中で執行する。

<木曾委員>

普通は、花火大会が中止になれば、予算は執行しないはずである。今回、予算を流用して、慰霊の花火を上げるということは、事業が変更されたことになる。そうなれば、当初予算で説明した事業と異なる事業を実施することはよいのか。これから、そのようなことがどんどん増えるならば、何のために当初予算の説明を聞いて、予算を認めているか分からなくなる。説明をしっかりとしないと、事業の報告だけでは違うのではないかと思う。例えば、当初予算はそのままにしておいて、違う予算を組み立てるとか考えられないのか。安易に予算を流用した軽率なやり方ではないのか。

<赤坂委員長>

前もって、「こうしていきたい」という報告があってもよいのではないかと思う。コロナ禍でこのようなことが今後増えると思うので、前もって報告・連絡するようお願いしたい。

<産業観光部長>

木曾委員がおっしゃることはよく分かっているが、今回は、6月補正の組み替えまでは考えなかった。コロナで執行しなかった予算もあるので、今後、新たな事業をするときは、前もって報告し、相談したいと思う。

<木曾委員>

議会は通年議会で、いつでも議会を開催できるので、難しく考えないでほしい。予算の組み替えが必要ならば、本会議を開催すればよい。市民の税金を使うので、説明責任を果たしていただきたい。花火大会は中止であると市民に説明しているにもかかわらず、花火を上げれば、うその説明をしたことになるので、慎重に考えていただきたい。

<田中委員>

事業の総額は幾らで、内訳は。

<商工観光課長>

予算300万円のうち、花火の打ち上げが250万円、警備費用が16万円と想定している。安全対策が一番大事であるので、警備については、亀岡警察署と調整しているところである。事業の総額は、266万円となる予定である。

<産業観光部長>

今後はもう少し早い段階で報告ができるようにしていく。また、予算を大切にしながら慎重に事業を進めて行く。

<田中委員>

例年の花火大会は中止であるが、市民は例年の花火大会なのか慰霊の花火なのか見ただけでは分からない。後々、批判が出てくる可能性があるのではないのか。

<商工観光課長>

花火の打ち上げ直前には、SNSで発信する予定である。また、後日新聞への掲載をお願いしたいと考えている。

<小川委員>

昨年も同様のことをしていただいたが、昨年にもいろいろな意見はなかったのか。

<商工観光課長>

市民の皆さんからの意見はなかった。情報が事前に漏れてしまったこともあって、

車の渋滞を招いてしまった。その辺りの対応について、警察にも指導をいただく中で、警備の配置等、事故がないように調整しているところである。

<小川委員>

昨年は保津町で回覧板を回されたが、今回はどうするのか。

<商工観光課長>

花火の実施に際して、煙火消費許可申請を京都府に提出しなければならない。その申請に地元の同意が必要であるので、保津町自治会に依頼して、同意をいただいている。昨年は自治会にお知らせして、自治会から近隣の方に説明いただいたが、今年は自治会で止めていただいている。

<赤坂委員長>

もうかなり情報は漏れていると思われるので、警備を徹底していただきたい。

<木曾委員>

平和祭の慰霊という意味で、広報はしなければいけないと思うがどうか。

<赤坂委員長>

日にちを出さずに広報はできないのか。

<商工観光課長>

昨年は、8月7日に平和祈念式典を実施しており、その式典の記事の中に、「(花火上げます)」と入れた。その記事を結構見ておられて、混雑を招いたと考える。できるだけ、今回は内部でも秘密を徹底している。発信してしまうと、事故にもつながりかねないし、警察からも十分注意するように言われている。

<赤坂委員長>

前もって、日付を出さずにお知らせして、終わってから実はこうだったのだということをお知らせすることはできないのか。

<商工観光課長>

工夫できるか考える。

<木曾委員>

混乱するのが心配なら事業をやらなければよい。事故が起これば、「亀岡市は何をやっているのか」と言われる。心配を抱えながら、花火を打ち上げる意義はあるのか。

<産業観光部長>

コロナ禍の状況ではあるが、何とか所管課としても、警察と調整しながら花火を打ち上げられるように考えている。来年に向けて、今年は慰霊の花火として、事業を実施させていただきたいと考える。

<赤坂委員長>

実施することを前提に動いていることは分かっているので、広報の問題はしっかりと対応していただきたい。

<産業観光部長>

今後も慎重に予算を執行していきたいと考える。

<藤本委員>

屋台は出るのか。

<商工観光課長>

出ない。

<菱田委員>

警備費が16万円であるが、事故のないように警備をしっかりしていただきたい。

<商工観光課長>

警察とも十分協議する中で対応していく。状況など全体を把握して、安全な取組となるように実施していく。

10 : 37

**(2) サンガスタジアム・イノベーション・フィールド実証支援事業の
経過報告について
(産業観光部行政報告)**

[商工観光課長 説明]

10 : 42

[質疑]

<田中委員>

委託料は幾らなのか。

<商工観光課長>

1, 562万1, 804円である。

<小川委員>

委託先のデロイトトーマツはどこにあるのか。

<商工観光課長>

東京都千代田区にある。日本の4大監査法人であり、今回亀岡市に企業版ふるさと納税として、3, 000万円いただいた。

<赤坂委員長>

今後も定期的に報告をお願いする。

<商工観光課長>

産業建設常任委員会の皆さんには、実証実験に係る現地視察も今後お願いしたい。

10 : 47

**(3) 既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業について
(産業観光部行政報告)**

[商工観光課長 資料に基づき説明]

10 : 50

[質疑]

<小川委員>

完了日が2月の4週目になっている事業があるが、間に合うのか。

<商工観光課長>

2月末までに、全て完了するのが前提になるので、間に合わせる。

<小川委員>

今後も途中経過報告をお願いしたい。

<木曾委員>

ポイントは3つあり、①資金計画の調査、②工事の抜き打ち検査、③2月末までの出来高払いになると、関係者から聞いている。不正がみつければ全額返還しなければならない。この補助金を確保しているのは、府内でも、京都市と亀岡市だけであ

り、注目されているので、慎重に事業を進めていただきたい。

<商工観光課長>

事業者支援となるので、全ての事業がスムーズに進められるように、市としてもサポートしていきたいと考えている。

<赤坂委員長>

最終的に観光とうまく連携できるようにしていただきたい。

<藤本委員>

建物の撤去事業が幾つかあるが、建物を撤去して、その跡地利用の計画は出ているのか。

<商工観光課長>

ある程度は撤去後の利活用を計画されている。例えば旧松の井旅館の跡地は、平成エンタープライズが、グランピング施設を計画されている。旧天山荘の跡地は、湯の花温泉を気軽に利用してもらえるように、ビジネスホテルのような宿泊施設を計画されている。

<藤本委員>

旧亀岡商工会館の跡地利用は決まっているのか。

<商工観光課長>

新亀岡商工会館を計画されているが、詳細は決まっていない。

[産業観光部退室]

10 : 58

3 その他

<赤坂委員長>

次回は8月6日(金)、亀岡市観光協会及び、森の京都DMO、産業観光部と意見交換を行うのでよろしくお願いします。

本日午後からは、亀岡市観光協会及び、森の京都DMOの事務所を訪問するので、午後1時15分に市役所正面玄関前に集合願う。

散会 ～11 : 00